


分野	53	循環型社会	通番 133
施策	532	ごみの減量と適正処理	
5年後の目標		市民と行政の一体となった取り組みにより、ごみの減量・分別と適正処理・リサイクルがいつそう進んでいる。	

概要							
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目		決算額(円)	担当課	
	一般廃棄物等の適正処理 及び減量化啓発事業		会計	款	項	596,398,393	環境業務課
			一般	4	2		
事業の概要							
<p>平成29年度に「減らす」、「育てる」、「考える」を基本コンセプトとして改定した長岡京市一般廃棄物処理基本計画に基づき、生ごみや紙ごみを中心に更なるごみの減量化とリサイクル推進のための啓発活動を実施します。</p> <p>また、保育所、小学校への出前授業を通して、資源を大切にできる人を育てます。</p>							


平成30年度の取組							
D (取組)	指標(～H29年度)	家庭系ごみ(可燃)1人/1日あたり排出量				単位	g
	現 状 (計画策定時)	年度	28	29	30	1	2
	471(平成26年度)	目標	449	445			
		実績	454	448			
指標(H29年度～)	ごみの総量				単位	t	
現 状 (計画策定時)	年度	28	29	30	1	2	
21,877 (平成27年度)	目標		21,205	20,869	20,533	20,196	
	実績		21,441	22,107			
<ul style="list-style-type: none"> ・乙訓環境衛生組合にてごみの処理を適正に行いました。 ・「ごみ減量を推進するためのごみ袋のあり方」について長岡京市廃棄物減量等推進審議会から出された答申を受け具現化に向けて調査研究を行いました。 ・給食調理くずリサイクル事業では保育所2園に加え、新たに北部共同調理場(十小)と第四中学校で開始、計4か所で実施しました。 ・食品ロス削減に向けての取り組みを推進するため、市民活動団体「フードバンク長岡京」への活動支援や、3010(さんまるいちまる)運動の啓発を行いました。 ・アゼリアエコチャレンジプロジェクト「環境への想いを絵にしよう(長岡中央商店街振興組合、教育委員会と共催)」では、市内の小学4年生の絵画768作品から選んだ4点を清掃車両1台にプリント描写しました。車両は保育所5園、小学校10校での出前授業でも活用しました。 						<p style="text-align: center;">出前授業の様子</p> 	

施策の「5年後の目標」に対する評価			
平成30年度の達成状況			
C (評価)	評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド
		ごみの総量	9月の台風21号により発生した廃棄物の処理増加によりごみの総量が増えました。
	達成度合	B: 目標をほぼ達成できた(目標の80%～100%程度)	達成状況
	課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭系ごみが2.9%増の15,996t(29年度15,547t)、事業系ごみが3.7%増の6,111t(29年度5,895t)でした。 ・4月～8月のごみの総量は9,298t(前年9,210t)で前年比0.96%の微増でしたが、台風の影響によって、9月～3月のごみの総量は12,810t(前年12,232t)で前年比4.7%増となりました。 ・ごみ減量のために、今後指定ごみ袋制度を導入していく予定ですが、十分な周知のためには市民の方への丁寧な説明が必要となります。 	

目標達成に向けての次年度以降の対応	
A (行動)	方向性
	1: 計画通りに進めることが適当
<p style="text-align: center;">対応策等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長岡京市一般廃棄物処理基本計画に定めた目標(減量化、再資源化、最終処分量削減)に向けて、3つのコンセプト(減らす、育てる、考える)に基づき、ごみ減量施策を実施していきます。 ・「考える」のコンセプトにおける「ごみ減量を推進するためのごみ袋のあり方」について、廃棄物減量等推進審議会での答申内容を踏まえた指定ごみ袋制度の導入に向けて、説明会や啓発キャンペーン等をスケジュールに沿って進めていきます(開始は令和3年2月)。 	

分野	53	循環型社会	通番 134
施策	532	ごみの減量と適正処理	
5年後の目標		市民と行政の一体となった取り組みにより、ごみの減量・分別と適正処理・リサイクルがいつそう進んでいる。	

概要								
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目			決算額(円)	担当課	
	分別によるリサイクル推進事業		会計	款	項	目	9,971,236	環境業務課
			一般	4	1	8		
事業の概要								
<p>ごみを減らす施策として、地域の集団回収の中から市民や事業所にも開放していただける古紙の拠点回収場所を登録いただき古紙のリサイクルを推進します。</p> <p>また、資源の有効活用と減量意識の高揚を図るためには市民参加型のごみ減量施策が重要であるため、自治会や各種団体など地域レベルの活動に対する支援を行います。</p>								

平成30年度の取組							
D (取組)	指標	再生利用率 (資源化量+集団回収量)/(ごみの総量+集団回収量) × 100				単位	%
	現状 (計画策定時)	年度	28	29	30	1	2
		目標	24.4	25.0	18.0	19.0	20.0
	14.9(平成26年度)	実績	14.6	14.2	13.9		
<ul style="list-style-type: none"> 古紙等の拠点回収の利用拡大のための啓発に努めました。 「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」に取り組みました。携帯電話514台を含む60.2kgの小型家電を回収することができました。 「宅配便を活用した使用済み小型家電の回収サービス」で、パソコン347台を含む約3.4tの小型家電を回収することができました。 リユースショップ実行委員会とともに、環境フェアと乙環リサイクルフェアにて「リユースショップ」を開催し、約293kgのリユース品を提供することができ、CO₂削減量は213.9kgとなりました。 				携帯回収ボックス(市内4か所設置) 			

施策の「5年後の目標」に対する評価						
平成30年度の達成状況						
C (評価)	評価指標	関連する評価指標			評価指標の傾向・トレンド	対応頁
		リサイクル率	新聞購読数の減少による影響か、古新聞の回収量は年々減少傾向です。			212
	達成度合	B: 目標をほぼ達成できた(目標の80%~100%程度)	<ul style="list-style-type: none"> 新聞の集団回収量は25年度の1,496tから年々減り続け、30年度は1,180tとなりました。 30年度のリサイクル率の目標は18.0%ですが、実績は13.9%と、目標数値と比べて4.1%下回りました。 			
課題等	<ul style="list-style-type: none"> 一般廃棄物処理基本計画におけるリサイクル率の目標数値を達成するため、今後導入する指定ごみ袋制度を進めることで分別を促進する必要があります。 					

目標達成に向けての次年度以降の対応	
方向性	対応策等
A (行動)	1: 計画通りに進めることが適当 <ul style="list-style-type: none"> 長岡京市一般廃棄物処理基本計画に定めた目標(減量化、再資源化、最終処分量削減)に向けて、3つのコンセプト(減らす、育てる、考える)に基づき、ごみ減量施策を実施していきます。 「減らす」において、現在4箇所で開催している給食調理くずの再資源化箇所の拡充を実施します。 指定ごみ袋制度の導入によって、分別収集に対する意識を向上させ、リサイクル率の目標数値の達成を図ります。